



ここがポイント  
**設計者様に伺いました!**

株式会社久米設計  
 環境設備設計部  
 上席主査 味元 建夫様

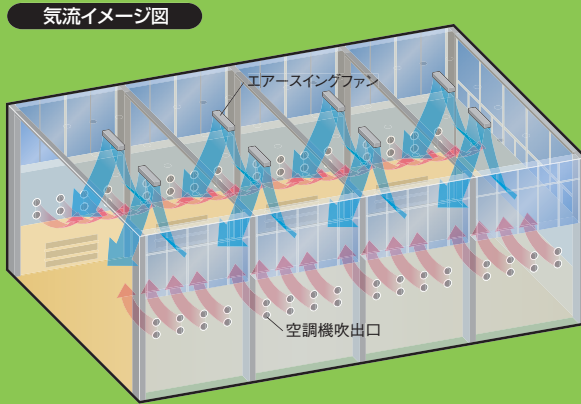


**決め手は、気流到達距離と風量・首振り角度の細かな制御でした。**

今回のポイントは、天井が高い建物であるということで「暖気を床面まで届けたい」という点と、人が活動する範囲に窓がないため「気流感を出す」という点、もう一つは、体育館使用者の競技や状況によって「風量や風の角度を変えられる」の3点でした。

エアースイングファンのことは以前から知っており、今回の建物の場合、風量や風の角度が変えられる商品が他社にないため、設計の早い段階からエアースイングファンの設置を最優先に挙げていました。設置後の体感で、上昇しようとする暖気をエアースイングファンがゆっくり下ろしてくるのがわかりました。ゆっくり対流しており、暖房効果も十分ありました。結果的に非常に良い環境にできたと思います。また、夏場は暖房と違い空調の上昇気流が発生しないため、エアースイングファンの気流がもう少し強く感じられ、涼風感につながると思います。

**エアースイングファンのサーキュレーション効果**



両サイドの壁中央部分に設置されている空調吹出口から出る暖気が、天井部から吹き出すエアースイングファンの気流に吹き降ろされて、人間が活動する高さまで下りてきます。

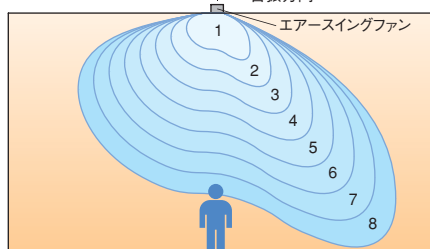
**マイコン制御で細かな風量・角度の制御が可能**



**特長**

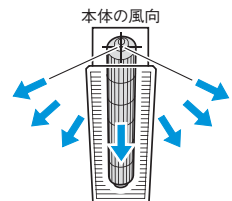
- ・8段階の速度調節により、風速は40%から100%まで調節可能。
- ・首振りのON/OFF設定可能
- ・吹出角度の選択可能（停止時のみ7段階、リモコン表示と連動）
- ・外部制御入力により集中管理も可能
- ・15台までの複数台運転が可能
- ・無極性2線で配線工事可能

**風速調節（8段階）**



数字:風速段階

**角度調節（7段階※）**



※首振運転停止時

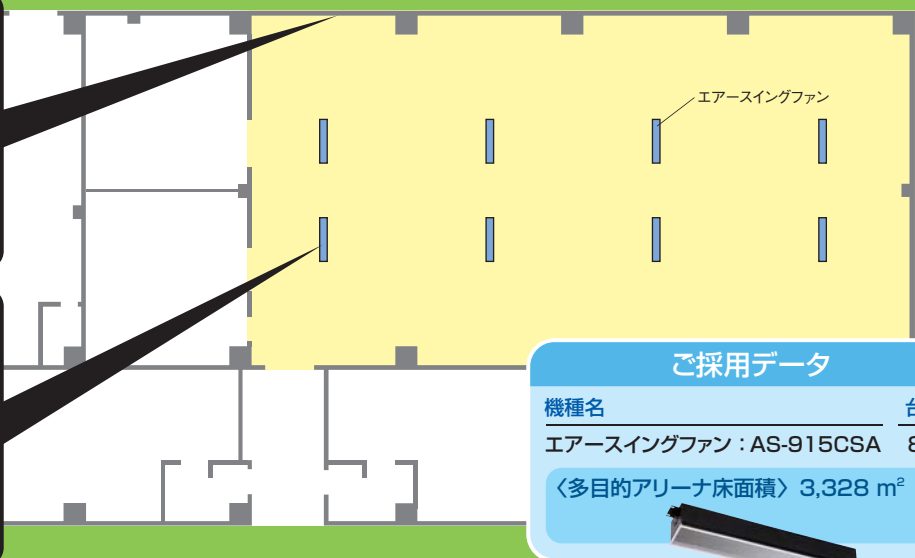
**エアースイングファン配置図**



壁を反転すると鏡になるので、鏡で自分の姿勢を確認しながらダンスをしたり体操ができます。



本体は天井裏に隠れており、縦格子グリルで統一されて均等な間隔で配置されているため、外観を損ねません。



**ご採用データ**

機種名	台数
エアースイングファン : AS-915CSA	8台

〈多目的アリーナ床面積〉 3,328 m<sup>2</sup>